

化学品の名称	メカミストカットEX
作成日	2015年 8月21日
改訂日	2016年 6月 1日

オゾン層への有害性

分類できない

ラベル要素

- 絵表示又はシンボル : 非該当
 注意喚起語 : 非該当
 危険有害性情報 : 非該当
 注意書き : **【安全対策】**
 必要に応じて、メガネ・手袋・マスク等の保護具を着用すること。
【応急措置】
 吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合：多量の水及び石鹼で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
 眼に入った場合：直ちに清浄な流水で充分洗眼した後、医師の処置を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗浄する。
 飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
【保管（貯蔵）】
 直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管すること。容器を密閉しておくこと。
【廃棄】
 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
 成分及び含有量

化学名 又は一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示 整理番号		PRTR 法	労働安全 衛生法	毒物劇物 取締法
			化審法	安衛法			
脂肪酸エステル	非公開	非公開	既存	既存	非該当	非該当	非該当

- 不純物及び安定化添加物 : 情報なし

【4. 応急措置】

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で充分洗眼した後、医師の処置を受ける。コンタクトレンズは可能であれば取り除いて洗浄する。
 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : 現在までのところ有用な情報無し。
 応急措置をする者の保護 : 救護者は、ゴム手袋、ゴーグルなどの適切な保護具を着用する。
 医師に対する特別注意事項 : 現在までのところ有用な情報無し。

化学品の名称	メカミストカットEX
作成日	2015年 8月21日
改訂日	2016年 6月 1日

【5. 火災時の措置】

- 消火剤 : ABC粉末、粉末、炭酸ガス、泡などの消火剤、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水。
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具（手袋、保護眼鏡、マスクまたは防塵マスク等）を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りは河川、用水路に流さないように石鹼水等で洗い流す。
多量の場合、付近への流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲って流出を防止し、ドラム等に回収する。大部分を回収した後、河川、用水路に流さないように石鹼水等で洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 火花の発生しない道具を使用する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
容器を転倒させたり、衝撃を与えるなどの粗暴な取り扱いはしないこと。
容器は必ず密閉すること。
火気を近づけないようにする。
局所排気装置・全体換気については8. 暴露防止及び保護措置を参照。
- 安全取扱注意事項 : 類の異なる危険物（ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質）との接触を避けること。
作業場の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。
取扱後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 保管

化学品の名称	メカミストカットEX
作成日	2015年 8月21日
改訂日	2016年 6月 1日

- 安全な保管条件 : 通気の良い場所で容器を密閉し保管する。
火気厳禁。
保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類はアースをとること。
熱、スパーク、火炎ならびに静電気の蓄積を避けること。
異物混入のないこと。
類の異なる危険物（ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質）との同一場所での保管を避けること。
指定数量以上の量を保管する場合は、消防法で定められた基準に満足する貯蔵所に保管する。
直射日光を避け、常温、暗所に保管し、高温物を近づけないこと。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

【8. 暴露防止及び保護措置】

- 許容濃度 : 現在までのところ有用な情報なし。
- 設備対策 : ミストが発生する場合は、発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。
- 適切な保護具
- 呼吸器の保護具 : 通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク（有毒ガス用）を着用する。
- 手の保護具 : 長期間または繰り返し接触する場合には、耐油性の手袋を着用する。
- 目の保護具 : 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長期間にわたり取り扱う場合又は濡れる場合には、耐油性の長袖作業服等を着用する。濡れた衣服は直ちに脱ぎ、完全に清浄にしてから再使用する。

【9. 物理的及び化学的性質】

- 外観 : 無色透明液体
- 臭い : 微臭
- 臭いのしきい（閾）値 : データ無し
- pH : 非該当
- 融点／凝固点 : 約-57.5℃
- 沸点、初留点と沸騰範囲 : データ無し
- 引火点 : 180℃
- 蒸発速度 : データ無し
- 燃焼性（固体、気体） : データ無し
- 燃焼又は爆発範囲（上限、下限） : データ無し
- 蒸気圧 : データ無し
- 蒸気密度 : データ無し
- 比重（15℃） : 0.94 g/cm³
- 溶解度 : 水に不溶
- n-オクタノール／水分配係数 : データ無し
- 自然発火温度 : データ無し
- 分解温度 : データ無し
- 動粘度（40℃） : 11 mm²/s

化学品の名称	メカミストカットEX
作成日	2015年 8月21日
改訂日	2016年 6月 1日

【10. 安定性及び反応性】

反応性、化学的安定性	:	通常の保管や一般的な使用条件で安定。アルカリ物質と混合して加熱すると、ケン化され石鹼を生成する。
危険有害反応可能性	:	適切に保管し、取り扱いえば有害反応は起きない。
避けるべき条件	:	燃焼。直射日光や高温下を避ける。
混触危険物質	:	ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質
危険有害な分解生成物	:	非該当

【11. 有害性情報】

急性毒性	:	(経口) 区分外
皮膚腐食性／刺激性	:	区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	:	分類できない
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	区分外
生殖毒性	:	分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)	:	分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)	:	分類できない
吸引力呼吸器有害性	:	分類できない

【12. 環境影響情報】

生態毒性	:	(水生環境有害性・急性) 分類できない (水生環境有害性・慢性) 分類できない
残留性／分解性	:	生分解性。
生体蓄積性	:	現在までのところ有用な情報無し。
土壌中の移動性	:	現在までのところ有用な情報無し。
オゾン層への有害性	:	分類できない
他の有害影響	:	排出規制(油分)

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	:	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。投棄禁止。
汚染容器・包装	:	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。投棄禁止。

【14. 輸送上の注意】

国際規制		
国連番号	:	非該当
品名	:	非該当
国連分類	:	非該当
容器等級	:	非該当
海洋汚染物質	:	非該当

化学品の名称	メカミストカットEX
作成日	2015年 8月21日
改訂日	2016年 6月 1日

- MARPOL 73/78 附属書Ⅱ : 非該当
及び IBC コードによるばら
積み輸送される液体物質
国内規制
- 海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物
陸上規制情報 : 消防法（第四類第三石油類）に従い、積載・輸送を行う。
特別の安全対策 : 容器毎に、栓の締め具合、漏れの無い事を確認し、容器の
転倒・落下・摩擦等損傷が無い様に積み込み、荷崩防止を確実に
行う。

【15. 適用法令】

- 消防法 : 危険物第四類第三石油類（非水溶性）
水質汚濁防止法 : 排水基準を定める総理府令
下水道法 : 施行令

【16. その他の情報】

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。